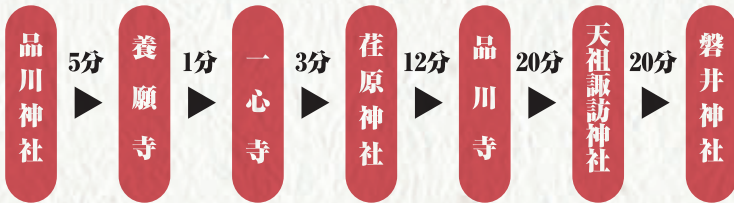


東海七福神



七福神めぐりは江戸時代、文化文政(1804~30年)の頃から各地で特に盛んになりました。当時の人々は、元旦から七草までに詣れば、その年は七難を免れ七福を得られると信じ、近くの七福神を巡り歩きました。縁起を呼ぶお参りにお出かけになってみませんか。

徒歩 全行程 約4.5km



七福神宝船

個人の参拝は最初にお参りのところで舟をお受け頂き、各社寺でお像をお受けになり七福神宝船をお作りください。



参拝記念色紙

七社寺お巡り用の色紙です。参拝の際に各社寺で色紙に印を頂いてください。

参観期間は元旦より11日までの期間です。

(令和二年現在) 受付時間 9:00~17:00

■お問い合わせは

一般社団法人 しながわ観光協会
SHINAGAWA TOURISM ASSOCIATION

☎03-5743-7642

<https://shinagawa-kanko.or.jp/>

〒140-0014 品川区大井1-14-1 大井1丁目共同ビル1F

【営業時間】午前9時30分~午後5時 (休館日) 日曜日・祝休日・年末年始



東海七福神



品川神社

しながわじんじや

文治三年(1187年)、源頼朝公が安房国の洲崎明神(天比理乃咩命)を当地にお祀りしたのを創始とする。後に鎌倉時代に二階堂道蘊公が宇賀之売命を、室町時代中頃に太田道灌公が素盞鳴尊を祀る。また、徳川家康公は関ヶ原合戦出陣の際に当社にて戦勝をご祈願され、以降、徳川歴代将軍により庇護を受ける。

■品川区北品川3-7-15 ■例大祭
☎03-3474-5575 6月7日に近い金曜日から日曜日

品川は平安朝の時代よりその地名があり、鎌倉時代には江戸湾の重要な港として、栄えてきました。徳川氏が江戸に入り慶長六年(1601年)に東海道宿駅伝馬制度を定め、品川は第一の宿駅となりました。沿道には由緒ある社寺が多く古くから七福神が祀られ「七難即滅七福即生」の故事により参詣も多く、昭和七年に品川が大東京に編入された記念として東海七福神初詣を定め、今に至っております。

東海七福会パンフレットより一部抜粋 文章は、東海七福会より許可を頂いたうえで掲載しております。権利は東海七福会に属します。

境内では参拝の気持ちを大切にマナーを守りましょう



寿老人

いつしんじ

当山一心寺は江戸時代末期安政二年に当時の世上開国日本幕開けの頃、品川の土地に町民一体となり町内発展と守護の為創建、旧東海道筋において当山は裏鬼門の方角に向けて守護する寺であります。本尊は不動明王であり、代々住職は大本山成田山、高野山、智積院にて弟子が住職を勤めております。

■品川区北品川2-4-18 ■縁日は毎月28日
☎03-3471-3911



布袋尊

ようがんじ

正安元年の創建と伝えられ、天台宗明鏡山善光院養願寺と号し、御本尊は虚空蔵菩薩を安置する。福德智恵の御利益を授かる丑寅年生まれの子守尊として信仰を集め、「品川の虚空蔵さま」と呼ばれている。本堂に鎌倉時代制作善光寺式阿弥陀如来三尊、江戸時代制作の不動三尊像、布袋尊が安置されている。

■品川区北品川2-3-12 ■虚空蔵尊大祭
☎03-3471-9224 4月と11月の第2土曜日



毘沙門天

ほんせんじ

承応元年(1652)、権大僧都弘尊法印の中興で、真言宗海照山普門院品川寺と号し、本尊水月観世音菩薩は太田道灌公の念持仏と伝えられている。寺宝の大梵鐘から「鐘の寺」と呼ばれている。安置されている毘沙門天は御丈三尺余、足利期のものと思推せられ高野山伝来の由緒深き御尊像として信仰を集める。

■品川区南品川3-5-17 ■江戸六地藏
☎03-3474-3495 第一番にあたる地藏菩薩像



恵比須社

えばらじんじや

■品川区北品川2-30-28 ■例大祭
☎03-3471-3457 6月上旬の金・土・日に開催



弁財天

いわいじんじや

当社の起源は敏達天皇の二年八月といわれ、千四百年余の歴史を誇っている。「日本三代実録」で官社に列せられたとの記あり、その後の「延喜式神名帳」にも当社の名が記されている。幾度かの戦火をくぐってきたがその古の姿は「江戸名所図絵」等に「鈴森八幡宮」の名で記録され、多くの参拝客で賑わったと伝えられる。

■大田区大森北2-20-8 ■磐井の井戸
☎03-3761-2931 井戸の水は万病に効く薬水とされる
■例大祭 8月第1週の金・土・日



福祿寿

てんそすわじんじや

■品川区南大井1-4-1 ■例大祭
☎03-3765-2061 9月中旬の土・日